

フサライドの吸入毒性試験の実施状況

平成 23 年 3 月 22 日

1. 試験実施機関

株式会社 ボゾリサーチセンター

2. 実施試験項目及び試験実施時期

- ・テクニカルトライアル試験 ; 平成 23 年 1 月中旬
 - ・ラットの 7 日間吸入予備試験 ; 平成 23 年 1 月下旬
 - ・ラットの 28 日間吸入試験 ; 平成 23 年 2 月
- 現在、報告書を取りまとめ中。

3. 試験概要

① テクニカルトライアル試験

ラットの吸入試験を行うにあたって、所定の気中濃度及び適切な空気力学的質量中位径 (MMAD) 値が得られるように、予備的に吸入装置の条件設定 (使用ブラシの選択、速度選択、流量選択等) を行う。

② ラットの 7 日間吸入予備試験

1 群雌雄各 3 匹のラット 4 群 (対照群、0.2mg/L 群、1.0mg/L 群、5.0mg/L 群) を用い、1 日 4 時間で 7 日間にわたり当該農薬を吸入させた。

吸入期間中は毎日ラットの一般状態を観察し、投与 1 日目、3 日目及び 7 日目に体重を測定した。

吸入中は適切な頻度で試験装置内のサンプルを採取し、気中濃度、MMAD 値、酸素濃度及び相対湿度を測定した。

最終吸入後、ラットを一夜絶食させたのち解剖を行い、臓器重量を測定するとともに主要臓器を保存した。

③ ラットの 28 日間吸入試験

1 群雌雄各 5 匹のラット 4 群 (対照群、0.2mg/L 群、1.0mg/L 群、5.0mg/L 群) を用い、1 日 4 時間で 28 日間にわたり当該農薬を吸入させた。

吸入期間中は毎日ラットの一般状態を観察し、週 1 回体重を測定するとともに毎日摂餌量を測定した。

吸入中は適切な頻度で気中濃度、MMAD 値、酸素濃度及び相対湿度を測定した。

眼科学検査は吸入開始前と吸入 4 週目に実施した。最終吸入後、ラットを一夜絶食させたのち尿及び血液を採取し、尿検査、血液学検査及び血液生化学検査を行った。その後、ラットを解剖し、臓器重量を測定するとともに臓器の病理組織学検査を行った。